

耐震・防火 まちの匠の知恵を活かした京都型耐震・防火リフォーム支援事業 〔本事業は宿泊税を活用しています。〕

耐震改修 長屋の場合、住戸ごとに補助限度額を適用します（一棟当たりの上限有り）。 **〔本格的な耐震改修〕と〔簡易な耐震改修〕のどちらかを利用できます。**

木造住宅				京町家等			
	対象工事	改修前後耐震診断	補助限度額		改修前後耐震診断	補助限度額	
本格的な耐震改修	現在の耐震基準に適合する工事	必要	100万円	現在の耐震基準に適合する工事	必要	120～300万円 ※1,2	
	一定以上の耐震性能を確保する工事	必要	50万円	一定以上の耐震性能を確保する工事	必要	60万円	
簡易な耐震改修	① 壁の設置や屋根の軽量化により耐震性能が従前よりも向上する工事	必要	30万円	① 壁の設置や屋根の軽量化により耐震性能が従前よりも向上する工事	必要	30万円	
	② 屋根の軽量化（耐震診断なし）	-	20万円	② 屋根の軽量化（耐震診断なし）	-	20万円	
	③ 屋根構面等の水平構面の強化	-	10万円	③ 屋根構面等の水平構面の強化	-	10万円	
	④ 根継ぎ等による土台又は柱等の劣化修繕	-	20万円	④ 根継ぎ等による土台又は柱等の劣化修繕	-	20万円	
	⑤ 有筋の基礎の増設	-	15万円	⑤ 礎石等の基礎の補修	-	20万円	
	⑥ 耐震シェルターの設置	-	20万円	⑥ 土壁の修繕	-	30万円	
				⑦ 柱脚部への足固め、根がらみの設置	-	10万円	
				⑧ 耐震シェルターの設置	-	20万円	

※1 延べ面積が120㎡を超えるものは、補助限度額を超過部分1㎡あたり1万円引き上げます（引き上げ後最大300万円）。 ※2 景観重要建造物等は40万円加算。

防火改修 長屋の場合、住戸ごとに補助限度額を適用します（一棟当たりの上限有り）。

	対象工事	補助限度額
防火改修	① 軒裏の防火改修工事	20万円
	② 開口部の防火改修工事	1.5万円/㎡
	③ 長屋の界壁の防火改修工事	20万円
	④ 外壁の防火改修工事	20万円
	⑤ 感震ブレーカーの設置工事	5万円

「防火改修」は密集市街地を中心とした市が定める区域が助成対象です。（詳しい区域は、本事業のホームページをご覧ください）窓口にお問い合わせください。

申請対象 市内の昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅及び昭和25年11月22日以前に着工された京町家等の住宅の所有者または居住者（予定を含む。）

注）市内業者が元請負人又は下請負人として補助対象工事を施工する必要があります（〔本格的な耐震改修〕及び〔簡易な耐震改修〕の〔耐震シェルターの設置〕を除く）。注）併用住宅の場合は、居住部分の床面積が延べ面積の1/2以上のものが対象です。



省エネ 既存住宅の省エネリフォーム支援事業

メニュー① 令和3年4月12日から受付
メニュー② 令和3年11月1日から受付予定
詳細は、京都市情報館内の本事業のホームページをご覧ください。

メニュー番号	対象工事	補助金額（最大）	対象工事	補助金額（最大）
①	屋根・外壁の遮熱塗装等	各3万円/式	内装断熱パネルの設置（壁、床、天井）	各5万円/式
	窓の遮熱フィルム又は遮熱塗装	2千円/枚	庇の設置	8千円/箇所
②	窓の断熱改修（内窓設置、外窓交換）	1万8千円/箇所	窓の断熱改修（ガラス交換）	7千円/枚
	外壁への断熱材設置	10万円/式	屋根への断熱材設置	10万円/式
	床への断熱材設置	5万円/式	天井への断熱材設置	3万円/式
	ドアへの断熱改修	3万円/箇所	高断熱浴槽の設置	2万円/式
	内装の左官工事（オプション工事）	2万円/式	浴室の断熱化（オプション工事）	1万円/式

申請対象 市内の住宅（一戸建ての住宅、長屋、マンション、アパート等の住戸部分）の所有者又は居住者（予定を含む。）

注）市内業者が元請負人又は下請負人として補助対象工事を施工する必要があります。注）併用住宅の場合は、居住部分の床面積が延べ面積の1/2以上のものが対象です。注）メニュー②は、令和3年10月31日まで、国が「グリーン住宅ポイント制度」を実施予定のため、京都市では令和3年11月1日から受付開始予定です。

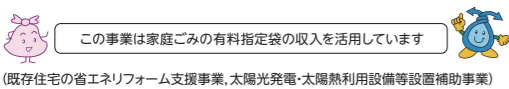
創エネ 太陽光発電・太陽熱利用設備等設置補助事業

詳細は、京都市情報館内の本事業のホームページをご覧ください。

対象設備	補助金額（定額）	設備要件	令和2年度申請分、平均設置価格（税込）
太陽光発電システム	20万円/件	2.0kW以上	137万円（4.6kW 設置時）
蓄電システム（太陽光発電システムと同時設置）	10万円/件	4.0kWh以上	121万円（6.1kWh 設置時）
太陽熱利用システム	10万円/件	強制循環型	95万円（5.5㎡ 設置時）

申請対象 市内の住宅（一戸建ての住宅、長屋、マンション、アパートなどの住戸部分）の所有者又は居住者（予定を含む。）等

注）併用住宅の場合は、居住部分の床面積が延べ面積の1/2以上のものが対象です。



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！



京都市にお住まいの皆様、住まいをお持ちの皆様へ

令和3年度

すまいの補助金のご案内



工事を併せて行くとおトク！

京都市の環境マスコット エコちゃん

より安全に、より快適に、よりおトクに

すまいのレベルアップリフォーム

予算がなくなり次第終了します！
申請はお早めに！

耐震・防火

屋根の軽量化や
軒裏の防火改修など

昭和56年以前の木造住宅

150万円！
京町家等はさらに補助額アップ！

省エネ

窓の断熱改修や
屋根や壁の遮熱改修など

国の「グリーン住宅ポイント制度」と重複するメニューは、令和3年11月1日から受付開始予定です。

50万円！
共同住宅でも利用可能！

創エネ

太陽光発電や
同時設置の蓄電池など

●太陽光発電 ●太陽熱利用
●蓄電システム 同時設置の場合

40万円！

道に面したブロック塀の除却

15万円！
※隣地間は対象外

申請期間

令和3年4月12日（月）～
令和4年3月1日（火）必着
（ただし予算額に達した時点で受付終了します。）

※実績報告書の受付は令和4年3月15日まではです。

ご相談はこちらまで、お気軽に！

京（みやこ）安心すまいセンター 耐震・エコ助成ホットライン ☎075-744-1631

〈申請窓口〉〒604-8186 京都市中京区烏丸御池東南角アーパネックス御池ビル西館4階
〈開館時間〉午前9時45分～午後4時30分（水曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日を除く））
〈申請受付時間〉午前9時45分～午前11時30分、午後1時～午後4時30分
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開館時間を短縮しています。電話は午前9時30分～午後5時



京安心すまいセンター



京都市 京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



●市営地下鉄「烏丸御池」駅3番出口すぐ

新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い
①大人数の宴会や飲み会は控えてください。
②個食、熟食にご協力ください。
③「会話するときはマスク着用」を！

リフォームや設備の設置に色々使える！



家族の安心と安全が
さらにグレードアップ！

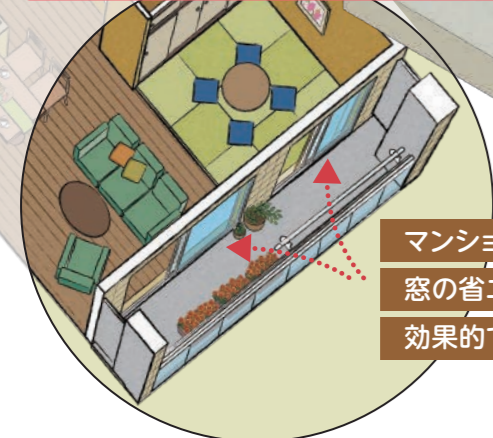
すまいの補助金

屋根への工事

- 屋根の軽量化(耐震診断無) 20万円 耐震
- 屋根構面等の強化 10万円 耐震
- 屋根の遮熱塗装 3万円 省エネ①
- 屋根への断熱材設置 10万円 省エネ②
- 太陽光発電システムの設置 20万円 創エネ
- 太陽熱利用システムの設置 10万円 創エネ

- 蓄電システムの設置 10万円 創エネ
(太陽光発電システムと同時設置に限る)

- 開口部の防火改修 1.5万円/㎡ 防火
- 窓の遮熱フィルム等 2千円/枚 省エネ①
- 窓の断熱改修 省エネ②
- ・内窓設置・外窓交換 1.8万円/箇所
- ・ガラス交換 7千円/枚



マンションなら、
窓の省エネ改修が
効果的です。

- 高断熱浴槽の設置 2万円 省エネ②
- 浴室の断熱化(オプション) 1万円 省エネ②

- 床への断熱材設置 5万円 省エネ②

※記載した補助額は一例であり、同じメニューであっても、条件によって補助額が変わる場合があります。
※イラストは一例であり、京町家等に使える耐震・防火改修に関する補助メニューもございます。
※省エネ改修に関する補助については、メニュー①と②で申請受付時期が異なります。
※これらの詳細は裏表紙をご覧ください、申請窓口までお気軽にお問合せください。



家計の節約にも
繋がるかもね。

壁への工事

- 天井への断熱材設置 3万円 省エネ②
- 外壁の防火改修 20万円 防火
- 外壁の遮熱塗装 3万円 省エネ①
- 内装断熱パネルの設置 5万円 省エネ①
- 外壁への断熱材設置 10万円 省エネ②
- 感震ブレイカーの設置 5万円 防火
- 軒裏の防火改修 20万円 防火
- 庇の設置 8千円/箇所 省エネ①
- 耐震シェルターの設置 20万円 耐震
- ドアの断熱改修 3万円 省エネ②
- 根継ぎ等による劣化修繕 20万円 耐震
- 有筋の基礎の増設 15万円 耐震



創エネ補助のみ、工事契約から工事着工までの間も、交付申請が可能です。



併用の例

屋根の軽量化(耐震診断無) 20万円 + 屋根への断熱材設置 10万円 + 太陽光発電システムの設置 20万円 = あわせて 50万円

しかも、足場設置費用が1度で済みます！